

「中野区子ども・子育てアンケート調査」結果報告について

中野区子ども・子育て支援事業計画策定のために実施した「中野区子ども・子育てアンケート調査」の最終結果をとりまとめたので、以下のとおり報告する。

1. 集計結果の概要

(1) 親の就労状況及び就労意向

- ①育児休業中である場合を含めると、母親の5割超がフルタイム、パート・アルバイト等で就労しており、就労していない母親のうち、およそ4人に1人が1年以内の就労を希望している。
- ②子どもの年齢が上がるに従い、「フルタイム共働き家庭」が減少し、「フルタイム・パート共働き家庭」が増える傾向にある。
- ③育児休業を取得し、職場復帰した母親のうち、約6割が復帰時期を早めている。その理由は、「希望する保育園等に入るため」が7割超と最も多い。

(2) 保育園・幼稚園の利用状況及び利用意向

- ①0～5歳で幼稚園、保育園などの施設を利用している保護者のうち、約9割が中野区内で利用している。主な施設は、「認可保育所」が43.1%で最も多く、「幼稚園」が37.2%、「認証保育所」が9.3%、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」が2.5%となっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「ひとり親家庭」及び「フルタイム共働き家庭」では、其々7割台が「認可保育所」を利用しており、「フルタイム・パート共働き家庭」は、「認可保育所」と「幼稚園」ともに3割台の利用状況である。

- ②定期的に利用したいと考える施設や事業については、0～2歳の47.1%が「認可保育所」、3歳以上では55.5%が「幼稚園」を希望している。
- ③子どもの年齢に合わせて、利用する施設や事業の変更・新規開始を希望する年齢は「3歳」が6割超と最も多く、そのうち「幼稚園」への希望が最も多い。

(3) その他の事業

- ①一時預かり事業については 23.3%が利用している。そのうち「幼稚園の預かり保育」の利用が最も多く、次いで、「保育園の一時保育」、「ファミリー・サポート事業」などの順となっている。
- ②保護者が進めてほしい子育て支援策では、「子育て費用の助成」、「放課後の居場所づくり」などが上位を占めている。
- ③「学童クラブを利用したい保護者の割合」は、低学年で 47.6%、高学年で 26.8%となっている。

2. 結果の公表

調査結果については、区ホームページに掲載するとともに、子ども教育経営担当窓口及び子ども総合相談窓口に閲覧用冊子を備える。また、図書館、区民活動センター、区政資料センターにて公表する。